

様式第8号（第11条関係）

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）松本市長

（申請者） 島内地区町会連合会

1 交付決定額

I	金 750,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：遊歩道整備事業				
実施主体	島内山田町会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和8年3月			
実施場所	市道1760号線沿い及び山田地区内			
事業概要	北アルプスを眺望できる市道1760号線沿いに植樹された桜を維持管理するとともに、山田地区内に整備されている遊歩道の維持管理や案内看板の設置を行う事業です。			
地域づくりの成果・効果	豊かな自然や素晴らしい景観と共存し、幸せな生活を送ることを目指し、環境整備や景観保全を行っています。 また、地域の住民自らの手で維持管理を行うことにより、地域の結びつきを強めるとともに、将来的には桜の名所として、多くの市民が訪れることで島内地区の活性化にもつなげます。			
課題	実際に作業を行う者の高齢化が進んでおり、若い世代にも関わってもらう体制づくりが必要です。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	117,256円	100,000円	0円	17,256円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：平瀬城跡整備保存活用事業				
実施主体	平瀬古城会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和8年3月			
実施場所	平瀬城跡及び登山道ほか関連する史跡			
事業概要	松本市特別史跡に指定されている平瀬城跡を地元町会や地元地区として、年間を通して整備し、地域の活性化に活用するものです。 ①城跡の保全活動 城跡及び登城路（登山道）等の草刈りを年2回実施するほか、案内看板等			

	の設置を行います。 ②狼煙まっりの開催 安曇野市（岩原城）・大町市（猿ヶ城）への狼煙リレーを含む第5回狼煙まっりを実施します。会場は平瀬氏館跡を予定しています。鉄砲等の演武や、平瀬城跡からの狼煙上げを行います ③学習活動 次代を担う小学生等への学習活動を展開する予定です。			
地域づくりの成果・効果	規模、構造において松本地域を代表する山城であり、遺構が極めて良い状態で保存されています。山城ブームもあり県外から訪れる方もあり、地区のウォーキング大会でも利用しています。地元町会が中心となり整備することで、松本地域をはじめ、多くの方が訪れやすい史跡にすることができます。狼煙まっりや学習活動などにより、世代間継承が図られ、歴史的な文化財に対する保全意識の醸成ほか、地域の担い手の育成にもつなげることができます。			
課 題	会員数60名に対し、実際の事業参加者は約20名程度となっているため、参加しやすい環境づくり（事業内容の見直し等）などを検討し、参加者増となるようにしたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	391,093円	300,000円	0円	91,093円

③ 事業名：町会主催行事支援事業				
実 施 主 体	島内地区町会連合会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和8年3月			
実 施 場 所	島内公民館ほか			
事 業 概 要	町会連合会及び各種団体において、会議や行事を開催する際の横断幕等を印刷する長尺印刷プリンターの消耗品を購入するものです。			
地域づくりの成果・効果	横断幕だけでなく、絵や表などを拡大コピーして、様々なイベントで活用することができ、地域の活性化に寄与します。			
課 題	より多くの地元団体に活用してもらうよう、定期的に周知を行い活用範囲を広げていきたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	55,258円	50,000円	円	5,528円

④ 事業名：史跡保全事業				
実 施 主 体	歴史文化財調査委員会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和8年3月			
実 施 場 所	島内地区内			
事 業 概 要	島内地区にある文化財の標柱や看板等の補修を行うものです。			
地域づくりの成果・効果	地域の文化財保全の一環として、史跡標柱を建立して周知をすることで、開発等による破壊・消滅を未然に防ぐように住民に対して喚起し、現状の保存を維持するための啓発に繋げることができます。			
課 題	調査委員会には地区内の町会長会、公民館長会のほかに、史談会会長等8名			

	の委員がいるが、実際の活動に参加する委員は3名程度となっており、参加者増のためにも新規会員の確保をしていきたい。また、活動内容についても周知方法等を今後検討していきたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	60,060円	50,000円	0円	10,060円

⑤ 事業名：島内地区こどもひろば実施事業				
実 施 主 体	社会福祉協議会島内支会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和7年10月			
実 施 場 所	島内地区内			
事 業 概 要	令和5年度で終了した「島内灯籠まつり」に代わり、夏休み子ども向けイベントとして、コロナ後も継続した「夏休みおはなしファミリー劇場」と、地区の子どもに関連する団体・サークルによる「遊びのひろば」を一同に会した「こどもあそびのひろば」を合わせて「島内地区こどもひろば」と称し、子ども向けの夏の思い出づくりを進めるとともに、地区内の子どもに係る団体のネットワーク化を広げるものです。 令和7年度は、OMF公演の前倒しなどによって、例年実施している8月第1日曜日が会場となる音文ホールが使用できないため、7月13日（第2週の日曜日）に開催しました。			
地域づくりの成果・効果	おはなしファミリー劇場は、島内公民館で活動している「朗読・おはなしサークル」や踊りのサークル、公民館文化委員会・図書委員会なども含めた「お話しプログラム」により、アマチュアからプロに至る幅広い「文化ネットワーク」を形成することができています。 こどもあそびのひろばに関しては、5月・6月・7月に実行委員会を開催して内容や周知方法、当日運営方法等を検討しました。終了後の7月末には反省会を開催し、次年度のより良い継続方法を検討する体制を取る中で、関係する団体やサークルのネットワーク化が図られます。 子どもたちにとって、地域の大きなイベントに参加することで、思い出作りにつながるほか、将来地域に関わろうとする意欲の醸成を図ることができます。			
課 題	あそびのひろばは、地元の中高生が主体となって運営できるような体制づくりを今後検討し、持続可能な事業にしていきたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	599,863円	150,000円	0円	449,863円

⑥ 事業名：若者応援事業				
実 施 主 体	島内地区町会連合会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和8年3月			
実 施 場 所	島内地区内			
事 業 概 要	地域自治支援交付金の若者による活動の提案事業（300千円）が令和5年度で終了となったため、若者の活動の掘り起こしを継続して支援していくために新たな交付金制度を町会連合会として令和6年度から新設しました。その原資として推進交付金を活用します。 4月に事業の提案を受け、5月に町会連合会地域課題検討委員会を中心とした審査委員会を開催して採択事業を推薦し、町会長会で承認します。			

地域づくりの 成果・効果	地区内で活動する若者に関わる任意団体を支援することで、居場所づくりや交流などが進み、地域の活性化が期待されます。 (令和7年度採用事業：けん玉普及事業、モルックで人を繋ぐ) ※それぞれ70,000円を交付			
課 題	採用された事業は誰もが気軽に参加できる内容のため、地域全体への周知を計画的に行い、多くの住民が参加できるようにしたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	140,000円	100,000円	0円	40,000円

決 算 額 (計) (①+②+③)	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	1,363,800円	750,000円	0円	613,800円

A：各事業の a の合計額
B：各事業の b の合計額
C：各事業の c の合計額

(2) 本年度の積立実績の報告
該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金	0 円
-----------	---	-----

[参考]繰越上限額 = I × 2 / 10